



遠  
2378  
163

心 辰 卯

り 卯

心 辰 卯

糖三合宵卦入智序

世小あるといひてあるなり。江の河と化物と人の内糖子金銀多あり。  
いづらあまご。江列大津大山市の晴出。海味の淨地。此岸の繋馬  
借降る。運坂の車ひたもき。旅人袖と。此岸の繋馬。此岸の繋馬  
戸がぬ市代の創る。と。小箱種屋方五帝と。世國の高と。一五八東  
馬。学。た。が。う。り。も。く。書。入。世。間。向。昔。小。う。り。も。く。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて  
る。だ。が。ち。ち。も。う。ゆ。れ。夜。を。た。た。る。も。だ。も。あ。り。と。ひ。の。り。も。く。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて  
人の。り。も。く。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて。今。も。今。も。今。も。  
る。良。の。り。も。く。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて。今。も。今。も。今。も。  
と。こ。は。残。り。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて。今。も。今。も。今。も。  
あ。ま。り。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて。今。も。今。も。今。も。  
述。り。た。だ。も。何。の。南。上。つ。けて。今。も。今。も。今。も。

文段三辰初陽

十返舎一九誌(真) 卍





きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

ふたりのきんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

きんぎょ  
きんぎょ  
きんぎょ

















土井合

辰春目録

叢書笠瀧澤先生著  
玄同放言第二集

大本全部一十一冊  
第三卷ヨリ第五卷マテ開板

この編入事の二つ同里を姓名の明釋に起り源竹軒頼の遺跡考  
東光寺蒲櫻の圖説と盡その間和漢相將の得失と論一野乗  
俗説の謠諑と所貝とよき古書と引證して沿革未由と推あはれむ時好不殆  
ふ好事一偏の考のよあむもまぐ熟讀バ讀史の楷榑學問の裨益をへん也

八文舎自笑評

三ヶ津

役者評判記

全三冊

東辰正月二日より  
賣出—申い

役者評の書は元禄のころと云ふに  
正統のころは元禄のころと云ふに  
此書は政治文化年中時漏未終し  
評去んてその事と云ふに元禄の  
の補助として而三年の事なり  
年中の事なり元禄の事なり  
例に依りて見れば元禄の事なり  
例に依りて見れば元禄の事なり  
例に依りて見れば元禄の事なり  
例に依りて見れば元禄の事なり



十返舎一九編  
獨醉舎國直画

